

今、ここから

NO.86

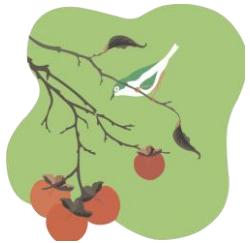
2014.10.22

新庄市教育委員会
教育相談室

9月の電話相談・来室相談から ~ 釈然としない謝罪 ~

小学校高学年の子を持つ母親の相談です。話は次のようにでした。

息子がB君に殴りかかり怪我をさせてしまったという連絡が入り、すぐに息子を連れて謝罪に行ってきました。幸い大きな怪我でなくホッとしましたが、どうも釈然としなくて・・・。息子は先生から「事情はどうあれ、暴力を振るった君が悪い。」と指導を受けたようです。私自身は、息子がそうした行為をしてしまった訳を教えてもらいたかったのですが・。



帰宅後、どういうことかと問いただすと、悔し涙をにじませB君から嫌なことを言われ、我慢できなくて手を出してしまったということでした。本人も怪我をさせてしまったB君には申し訳なかったという気持ちを持っているようでしたが、自分の気持ちを考えずに痛いところをついてくるB君には腹を立てている様子でした。と同時に、大好きな担任の先生には、自分がどうしてB君に手を出したのか気持ちを分かってほしいという思いがあったのに、言い分も聴いてもらえず一方的に指導を受けたことがショックだったようです。

少子化といわれている現代ですから、小さな頃から兄弟喧嘩をたくさん積み、うまい落としどころを見つける術を身につけている子は少ないかもしれません。子ども同士で解決できないこともあるでしょう。そうした場合は両者を同じテーブルに着かせ、双方の言い分を聴き、それぞれの言葉足らずのところは大人が補足し、相手の気持ちを伝え理解させることになります。時間はかかるでしょうが喧嘩は座学では学べない相互理解のチャンスでもあります。話し合いの場で、爽やかな空気が流れるようであれば、相互理解が出来た収穫のある喧嘩であり、成長に結びつくトラブルだったといえます。その時その時の発達段階に応じた喧嘩の経験は、ゆくゆくは「生きる力」に結びつくのだと思います。

「やはり心開ける仲間の存在は大きい！」

シャイニングクラスの入級生は現在8名、今まであまり例のないような大所帯（？）になりました。全員がそろうということがないのは残念ですが、6～7人が出席するととてもにぎやかになります。

そんな今、以前に比べ雰囲気に少し変化が見えるようになってきました。というのは女生徒の中で、肩身が狭そうに通級していた男子生徒のことです。周囲の女子は極自然にその男子にも話しかけてくれていたので、楽しそうに話もできるし周囲に馴染んできているなあ、と見ていましたところでした。



そういうところに8人目、他校の男子が入級してきました。一番ほつとしたのは、先に通い出していた男子生徒でした。何気ない様子で周囲と会話し肩をならべて勉強してきていても、どこか無理をしてきたんだということを思い知らされたからです。「男1人で寂しかったんだよ。これから休まず来て欲しいんだ。」ということを、強調していました。しかも、体育の授業ではもちろん休憩時間でも、気心知れた級友のように、じやれあつたり励ましあつたり等。この2人を見て1+1が2ではなく、2より大きくなるのではないかと感じました。特に、元からいた男子生徒は、教科学習も積極性が出てきているし、言

動には以前より自信めいたものを醸し出すようになったのです。

このクラスの生徒は、いろいろ悩みを抱えての通級開始だったと思います。それらは、ここでは完全な解消には至らないでしょう。でも、緊張感から少し解き放たれた空間と心和む仲間ができてきていることは、これから的生活に必ずプラスになるんだということに気付かされました。うれしい発見ができ、2人には感謝です。

感謝を伝える体験活動「いも煮会」

実りの秋・収穫の秋です。春うららかな5月中旬、畠の先生五十嵐さんの指導のもと植え付けたサトイモが収穫の時季を迎える、10月9日に入級している7人が「収穫」を行いました。野外活動の時いつも心配な天気ですが、今回も好天に恵まれ、7人がチームワークよく、茎を切る人、掘る人、根を取る人、洗う人等に分かれ、わいわい楽しみながら、たくさんのサトイモとサツマイモを畠から頂きました。



市役所の東庁舎脇でイモ洗いや袋詰めをしているともう昼間近。昼食をとり、正午過ぎに、庁舎内での販売に挑戦です。対面での販売は入級生にとっても勇気が必要な体験です。迎えに来た家人に買ってもらって終わりにしたいとの衝動に駆られた通級生人もいたようです。東庁舎と本庁舎を回り、完売した彼らは達成感の笑顔でいっぱいでした。

15日にはサトイモの皮むきと買い出しを行い、16日に醤油と味噌の班に分かれてのいも煮づくり。チーフを中心にイモや肉・ネギを切ったり、こんにゃくをちぎったり、肉を炒めたり手際よく進め、時間通りに2鍋のいも煮が出来上がりました。常日頃お世話になっている方々が会場に見えると、ぎこちなさや照れ臭さを隠しながら、来客を席に案内する生徒たち。「ありがとうございます。醤油味と味噌味のどちらがいいですか。」と注文を取る生徒たち。全員にいも煮が配られ、一人一役のセレモニーが始まりました。緊張で胸がバクバクだった生徒もいたでしょうが立派に役割を果たしました。一生懸命料理したかいあってか、いも煮は大好評でした。多くの方々の協力のお蔭で、苦手なことも成し遂げた子どもたちはきっと何歩か成長したものと確信しています。有り難うございました。



収穫したサツマイモは 28kg



“いも煮会”に参加いただいた
畠の先生 五十嵐正臣さん

10月の活動 シャイニングクラス在籍 8名

<シャイニングクラスの学習 >

- 月曜日 数学、国語 ○ 水曜日 社会、英語
- 金曜日 理科、体育 ○ 木曜日 体験活動（月2回）

- ◆ 体験活動⑫ 10月16日（木）
「いも煮会」
- ◆ 体験活動⑬ 11月6日（木）
「絵手紙（礼状）を描く」
- ◆ 体験活動⑭ 11月13日（木）
「ダイコン・綿の収穫と畠の後片付け」



収穫したサトイモの
袋詰め作業 (10/9)

あとがき

12日、皇太子さまをお迎えし“遊学の森”で全国育樹祭が開かれました。12年前に来県され両陛下がお手植えされた6種類の苗木（ブナ、トチノキ、カツラ、オオヤマザクラ、ネムノキ、ヤマボウシ）は順調に育っているようです。式典には次代を担う少年団もたくさん集っていました。参加した子どもたちは6種類の樹木の区別がつくかな？樹木の名前を知っていることは、豊かな森や自然環境について考えたり、興味・関心を深めることにつながります。「知るは樂しみなりと申しまして、知識は人生を豊かにしてくれるものでございます。」NHK某アナウンサーのフレーズを思い出しました。

教育相談連絡先

- ダイヤルなんでも相談
TEL 23-7266
- 適応指導教室（シャイニング）
TEL 22-2111
(内線 445、448)
林、小野、鈴木が担当です。